

「手術支援ロボット hinotori の術中データログを用いた手術手技評価」 に対するご協力のお願い

研究代表者 松本 一宏
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 泌尿器科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2022 年 5 月から 2028 年 3 月までに、当院で前立腺癌の診断を受けた方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20251145

研究課題名 手術支援ロボット hinotori の術中データログを用いた手術手技評価

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学医学部泌尿器科

研究機関

シスメックス株式会社

研究代表者

(職位) 講師 (氏名) 松本一宏

研究責任者

(職位) MR 事業推進部部長 (氏名) 大東正幸

4 本研究の目的、方法

ロボット支援下前立腺全摘術によって一定の確率で発症する術後後遺症（尿失禁や勃起障害）の発生原因は明らかとされていません。手術支援ロボット hinotori を用いるロボット支援下前立腺全摘術の術中機器動作記録はすべて蓄積されています。そこで、この記録を解析することにより、術後後遺症の発生要因を明らかとすることを目的とします。本研究は慶應義塾大学とシスメックス株式会社との多機関研究です。シスメックス社に保管されている手術データを慶應義塾大学にて授受し、手術後遺症との関連を解析します。

5 協力をお願いする内容

前立腺全摘術に関するカルテデータ（手術および術後後遺症）と hinotori 動作記録

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

hinotori 動作記録は個人情報を含まない形でシスメックス社のサーバーに保管されていますので、そちらを用いて解析します。当院のデータを外部へ提供することはありません。デジタルデータ化された hinotori 動作記録はシスメックス社から慶應義塾大学病院へ電子記録媒体を用いて提供されます。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、前立腺全摘術に関するカルテデータおよび hinotori 動作記録の使用停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者 所属 泌尿器科学教室 職名 講師
氏名 松本 一宏
連絡先電話番号 03-5363-3825